

学習指導だより

NO. 8

矢板市立片岡小学校

平成27年12月10日

12月の学習目標は「本をたくさん読もう」です。

(読書の習慣化)(図書資料の活用)

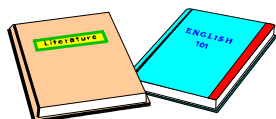
- ・ 図書室や学級文庫の本をたくさん読む。
- ・ 調べ学習に図書室の資料を活用する。
- ・ 調べ学習に使う資料の見つけ方や活用方法を身に付ける。
- ・ 進んで調べ学習に取り組む。
(学年の発達の段階に応じて)



子どもを読書好きにしよう

ゲームやテレビは好きだけれど、本はなかなか読もうとしないというお子さんもいると思います。そんなときは、次のような取り組みをしてみましょう。

- ・ 本を手に取りやすい環境づくりをしよう。
- ・ 絵本から始めて本の楽しみを広げよう。
- ・ スポーツ関連の本や図鑑を与えよう。
- ・ 書店や図書館で一緒に本を選ぼう。
- ・ 読み聞かせをしよう。
- ・ 大人も読書を楽しもう。



辞書を使わせましょう

「言葉への興味」を育て、自分から進んで学習する姿勢をつくるために、家庭での辞書引きをお勧めします。学校での指導は3年生からとなりますが、小学校低学年から辞書(国語辞典)を手取ることで、次のような力が育ちます。

- ①正しい言葉を使うようになる
- ②学ぶ意欲が高まる
- ③言葉の背後にある思いを理解し、共感する力が付く

家庭での辞書引きを習慣化させるためのポイントとして、次のように実践してみましょう。

- ・ すぐに手に取れる所に辞書を置く
- ・ 気になることがあったら、すぐ調べる
- ・ 付箋に引いた言葉を書いて、辞書に貼る
(付箋を貼ると、後から確認することもでき、辞書引きが楽しくなります。)



☆復習は効果的です！☆

県教育委員会では、リーフレット「家庭でできる学力アッププロジェクト～平成27年度とちぎっ子学習状況調査結果から～」で、家庭での学習、特に復習についてまとめています。このリーフレットは、今年度とちぎっ子学習状況調査を実施した4、5年生の保護者の皆様に配付されました。内容をお知らせしますので、他の学年の保護者の皆様も、家庭での学習について、お子さんと話をする際の参考になさってください。

- 家での学校の授業の復習・・・「家で、学校の授業の復習をしている」という質問に対して、「はい」と回答している児童の平均正答率が高くなっています。また、学年が上がるにつれて、差が大きくなります。小学生のうちに復習する習慣を身に付けさせましょう。
- どうして、復習が効果的なのか・・・1日以上たつと、覚えたことを半分以上忘れてしまいますが、同じことをもう一度覚え直すと、忘れる量が少なくなっていくます。その日のうちに復習すると、効果的です。
- どんなことをすればよいか・・・その日学習した内容について、教科書を読み直したり、問題をもう一度解いてみたりすることが考えられます。また、テストで間違えた問題を解き直したり、学習のことについて家で会話したりすることも平均正答率と関係があることがわかります。